

第5回小美玉市自治基本条例策定委員会会議録

日時 平成19年2月26日(月)午後1時30分～午後4時30分

場所 小川総合支所 3階 大会議室

出席者 飯島委員長、片田副委員長、笹目委員、山西委員、高野委員、貝塚委員、藤枝委員、
久保田委員、緑川委員、菊地委員、滑川委員、高木委員、長島委員、中野委員、大越委員
石田委員

欠席者 春田委員、沼田委員、百地委員

1. 前回の確認について

【第4回会議内容及び会議録等について確認】

- ・事務局より、前回のワークショップ内容及び第4回策定委員会会議録の確認結果表・会議録につき、変更・訂正箇所等なく了承された。

2. グループ討議

テーマ1 「行政運営」

テーマ2 「財政運営」

A グループまとめ

テーマ1 「行政運営」

まず、執行機関の現状の問題として、縦連絡しかできなく横の連絡ができていないためネットワークとしては欠けている。

情報の流し方としても、広報誌やお知らせ版があるが、うまく活用できてなく実際には市民に見てもらえていない。また、掲示板においては数が減ってしまっているということで、情報が流れなくなっているという意見がある。

解決方法としては、市民間のネットワークを密にしていくことや、ホームページ等をうまく活用していく必要がある。ホームページにおいてもどこが一番見られているか等、解析をする必要がある。

1つの方法として、来訪者が何人いるというカウントを使用したり、市サイドのホームページ管理者が分析を行い、それによって住民が何に興味があるのかが必然的にわかってくる。

また、防災無線もエリアによっては聞き取れない場所があり、家の中に設置している所もあるが、全地域ではないため、それ以外の聞き取り方法を考えたほうが良い。例えばケータイのメールで登録し、

情報入手するなど。

情報に関して、市から欲しい情報として、財政の内容、予算等のホームページでの開示や、公共施設の空き予約状況の照会、議会傍聴の予約制度などを設けてみてはどうだろうか。

また、助成を受けている団体の決算報告の開示や、職員採用の基準、一年間のイベント情報などの情報を市から貰いたい。市へ伝えたい情報にも含まれるが、市内のコミュニティ団体の紹介という意見もでた。

情報伝達の方法、仕組みについては回覧にしても情報が多すぎるので、ある程度内容を絞って流す。また、やる事業なのか・やらない事業か、市がやるもの・市民がやるものの事業仕分けを事前に行ったほうが良い。

テーマ2 「財政運営」

財政問題については、維持管理方法について意見が多かったのですが、地方分権が叫ばれている中でも十分活かせるようなものであるよう努力すべきという意見がある。区長制度の区割り制度についても十分活用し、経費節減にあたってほしい。

また、事業をある程度絞ったほうが良い、例えば、まちづくり実践事業というものをつくり、重点事項を絞り進めてはどうか、という意見もあった。

入札制度の問題等についても、情報公開等あるが、そのあり方をもう一度見直してはどうか。

税務徴収についても公平公正な行政運営をしなければならない、差し押さえなど実施している自治体もあり、税の徴収のあり方、内容についても検討し努力すべき。

現在、市が行っている事業に民間委託を積極的に取り組んではどうか。また、特例債の問題について、市でも長期計画含めて特例債の有効活用を推進するよう考えられているようだが、どうなっているのか、どうあるべきなのか、もっと市民の声を聞いてほしい。

建設計画や市長マニフェストの今後の見通しについても市民へ積極的に伝え、意見を聞くようにしてほしい。

歳入歳出について、内容が専門的なものでわかりにくく見づらいので、簡単に、わかりやすく市民に公表していただきたい。また、予算執行と実績の評価についても、目標と実績についての評価内容を市民に報告すべきである。

B グループまとめ

テーマ1 「行政運営」

執行機関について、組織機構の縦割りでわかりにくい、住民のニーズにあった組織の編成を行ってほしい。道路の改修などの要望申請が提出された時に実際にいつ行われるのかわからないので、行政サイドである程度ランク付けをすれば市民にも実施時期がわかるのではないかと。その他に市政モニターが提示した意見に対する返事が市長ではなく担当の長から返ってくるのはおかしいのではないかとという意見もあった。

行政が執行状況についての進行状況についてもわかりやすく開示していただきたい。

市からほしい情報としては、予算の執行状況、小美玉市の財政状況等があった。

市へ伝えたいことについて、例えば道路用地買収を行ったときに担当職員ではうまくいかない場合に、土地所有者に向けた職員が交渉するなど、仕事の中で縦割りではなく横のつながりが活かされてもいいのでは。

情報伝達の方法として、現在の情報そのものが結果だけで興味をもって読める部分が少ない。内容といつか、書き方の工夫をしてはどうか。

情報がほとんど一方通行なので、行政・市民間のキャッチボールができるように、モニター制度の実施や目安箱を作成してみても、との意見がでた。

テーマ2 「財政運営」

市の維持管理方法について、このまま小美玉市が何十年存続しているか分からない、そういったことから、新庁舎などのいわゆるハコ物事業に関しては、なるべく避ける。また、財政運営について、住民の為の行政となれば、市として何をなすべきかをビジョンとして住民にわかる形で広報をしてほしいという意見がでた。

各課からの事業のチェック、予算配分に対するチェック体制、予算に対する決算の状況などが分かるような形で開示してほしい。また、監査結果等についても公表していただきたい。

予算規模に対して債務の割合が18%を超えると黄信号になる、現在小美玉市の割合は13.7%であり、こういう所からも市としてのビジョンを明確にし、ハコ物などは避けていただきたい。

会計別の決算についても特別会計については公表される部分が少ないので、一般会計同様に内容が明確なものを示してほしい。

日銀が0.25%追加利上げし、市の予算にも響いてくると思われる。利息が高くなれば公債費も高くなることから、借り入れするにも慎重に行い、最小で最大の効果をあげるよう、チェックを行ってほしい。

4. 次回以降の策定委員会検討内容について

・次回ワークショップを行うにあたり、資料の小美玉市自治基本条例骨子（案）内の今後検討する事項欄を参考に次回テーマを決めていただいた。

各グループで2つずつ行ったほうがより多くテーマを検討できるとの意見もあり、A・Bグループそれぞれワークショップテーマを2つ挙げてもらい、各グループのテーマは以下のとおり決定した。

A グループ：「危機管理」「企業との協働」

B グループ：「国・県・他市町村との連携」「男女共同参画」

また、次回はワークショップの結果発表後にもう片方のグループから意見・質問を聞く時間を作る事とした。

5. 次回策定委員会の開催等について

次回開催日時は3月19日（月）午後1時半、玉里地区にて開催予定、22日を予備日とし、詳細は開催通知に明記することとした。

6. その他

- ・事務局より、3月24日（土）午後1：30～ 玉里総合文化センター「コスモス」にて市民フォーラム開催のお知らせ